

「ソフトテニスハンドブック」の改訂について

競技委員会委員長 安藤 正美

従来より愛好者の皆様にご活用いただいております「ソフトテニスハンドブック」に、追加記載が必要と思われる項目や、愛好者の皆様にごできるだけ解りやすい言葉や文章にするという基本的な考え方に立ち、「改訂版」を2021年4月に発行いたしました。

なお、主な変更点は次の通りとなります。

1. 新しい項目を追加いたしました。

- ①マナーBOOK「抜粋版」(フェアプレイ宣言・環境宣言)
- ②大会運営マニュアル(開催の流れ・開催申請手続き・申込み、当日受付の流れ・国旗などの掲揚基準・開会式、閉会式の配置・賞状記載例・入退場経路図)

2. 日常用語に置き換えました。

- ①ソフトテニスコート ⇒ テニスコート
- ②第1サービス、第2サービス ⇒ ファーストサービス、セカンドサービス

3. 内容を修正あるいは追加、削除いたしました。

- ①アウトコートのスペース基準を、既設コートやアジアソフトテニス連盟の基準に近づけました。(後方は6.3m以上、左右は5m以上)
- ②テニスコート照明における照度の基準を設けました。(1mの高さで500ルクス以上)
- ③インドアにおける天井の高さの基準を設けました。(中央9.14m、後方4.87m以上)
- ④ショートマッチから、「15ポイントマッチ」を削除しました。
- ⑤マッチ中の、外部からの身体的手当での判断を簡素化しました。(正審とレフェリーの協議は不要)
- ⑥熱中症予防対策のためヒートルールを新設しました。(ファイナル前に3分間の休息許可)
- ⑦大会運営規則において、日本連盟主催大会で使用する競技施設を明確化しました。
- ⑧大会運営規則において、ベンチの設置場所をコート外でも可能としました。
- ⑨大会役員編成マニュアルにおいて、役員編成の役職一覧表を掲載しました。
- ⑩公認審判員規程において、2級審判員検定会に参加できる年齢等を追記しました。

ハンドブック全てを暗記できれば「これに勝るものはない」のですが、まずは「この内容はここにある」くらいに分かるようになることが第一歩です。是非、変更点をご理解いただき皆様の「ソフトテニスBIBLE」としてご活用ください。